

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会会報

全溶連

2024年7月 第209号 www.zenyoren.com/

- 全溶連 現場を守り 80年
- 重ねよう 細かな確認 自主保安



(全溶連は2030年度に向けて掲げたSDGsの目標に取り組んでいます。)



尾瀬の郷 片品村

写真提供：一般社団法人 片品村観光協会

2024年 第81回全溶連通常総会(大阪)	02	賛助会員の広場	
第81回通常総会	04	(日酸TANAKA株式会社/三菱UFJ信託銀行)	13
ご来賓より祝辞	09	お知らせ(全溶連 ポイントゲットキャンペーン part4 /	
単位組合紹介(群馬県高圧ガス溶材協会)	12	福祉共済制度のご案内)	14

2024年 第81回全溶連通常総会(大阪)



2024年6月7日(金)大阪ガーデンパレスで一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会の第81回通常総会が開催されました。総会開催にあたり河西副会長より

「まずは経済産業省様、大阪市消防局様、高圧ガス保安協会様そして日本産業医療ガス協会様始め関係主管庁様、関係諸団体様には日頃から私ども全溶連が多大なご支援ご協力を賜っておりますことに加えまして、本日はご臨席いただきまして、重ねて御礼申し上げます。また会員の皆様そして賛助会員の皆様には大変ご多忙のところご出席をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。ここ大阪での開催はコロナ禍の影響で8年ぶりとなります。



河西副会長

昨年は第80回全溶連大会を九州の博多で開催し、多くの方々にご参加いただきまして、全溶連としてのSDGs宣言を採択させていただきました。また来年は東海地区の皆様にご尽力いただいております。名古屋で第82回全溶連大会を開催予定でございます。ぜひ多くの方々にご出

席を賜ればと思っております。

本日は2023年度の事業報告決算報告そして2024年度の事業計画予算案等についてご審議をいただきます。限られた時間でございますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。全溶連の最大の使命は高圧ガスの保安の確保ということでございます。高圧ガスの事故につきましては、令和5年の事故の発生件数は前年より減少しておりますが、まだまだ高い水準で漏えい、紛失といった事案が大部分を占めております。また今年1月に能登地方で大規模な地震がございました。このような大規模地震や最近激甚化しております風水害に対する高圧ガスの保安の確保、容器の流出対策、また地震発生時の高圧ガス安定供給等に我々は留意していかなければならないと思っております。

会員の皆さんもそれぞれの事業活動を通じまして高圧ガスの保安の確保に今年度もより一層のご尽力を賜ればと思います。それでは一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会の第81回通常総会を開会させていただきます。」

と挨拶がありました。引き続き深尾会長より以下の挨拶がありました。

「はじめに、本年1月1日に発生した能登半島地震におきまして犠牲になられた方々に、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地域の一日も早い復旧・復興がなされますことを心よりお祈りいたします。



深尾 会長

さて一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会通常総会も81回を重ねることとなりました。今回も、公私ともにご多忙の中、官界を始め業界団体の多くのご来賓をお迎えし、賛助会員の皆様にご参集頂いて総会を開催できますことを関係各位に対し厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症を位置づけが5類感染症となり、感染対策が緩和されたことで、個人の生活や産業、経済が大きく動きはじめ、景気にも明るい兆しが見えてきたように感じます。

しかしながら、引き続きロシアとウクライナとの問題、イスラエルとハマスの戦闘の長期化など地政学的リスクは依然として高いことから、エネルギー価格や原材料の高騰が続いております。加えて、以前からの人手不足の問題もさらに深刻になってきており、我々高圧ガス業界も、まだまだ厳しい環境下にあります。

近年、全国各地で大規模な自然災害が発生し甚大な被害をもたらしています。

1月の能登半島地震では、高圧ガス容器の転倒に起因するガス漏洩や、津波による高圧ガス容器の流出事故が想定されたことから、経済産業省の指導により関係団体と協力して災害発生の対応に取組みました。

一方で、高圧ガスは、自然災害発生時における避難所等での生活資源としても必要不可欠です。したがって販売業者は地域ネットワークの一員として関連機関と連携を図り、安定供給の確保や医療支援に努める等、災害防止と復興支援、両面での貢献に努めて参ります。

消費先における消費形態が多様化してきたこともあり、高圧ガス事故件数は高止まりの状況にあります。高圧ガスを安全安心に使用するため、全溶連では、毎年、溶接溶断・燃料用液化石油ガスの周知文書25万部をガス消費先へ提供し、保安

確保の周知徹底を図っております。

また、毎年各地域で開催している「高圧ガス消費者保安講習会」では、引き続きコロナ対策をとりながら、会場の設営、人数制限、オンライン開催等、自主的な取り組みをベースに対応しております。

次に、毎年10月に実施している「全国一斉特別回収運動」については、引き続き関連推進団体と連携して、使用済容器の早期返却を促進してまいります。

一方、販売業者及び消費者向けの各種保安文書については、会員及び会員外の方にも多数利用して頂いています。販売店並びに消費者にとって役立つ保安文書の充実を図り、新規保安文書の刊行、法改正による改訂版の刊行に向けて取組んでおります。

また、新たな活動として全溶連では、経済・保安委員会が主体となり、持続可能な開発目標「全溶連SDGs」を掲げ、昨年6月の全溶連大会九州で宣言しました。会員各位のガスビジネスの延長上で社会課題を解決し、持続可能な世界を目指す活動として、11の目標と17のターゲットを設定しました。これまでの活動はもとより、環境問題をはじめ、公共の安全やコンプライアンス、質の高い教育、クリーンエネルギーの提供などに、幅広く貢献して業界地位向上に努めてまいります。

さらに、ビジネスシーンや教育現場、日常生活での活用が急速に進んでいるAIに注目し、2月の理事会・評議委員会において、外部講師による勉強会を行いました。今後の保安活動に役立てたいと考えています。

直近の話題として、5月の国会で「水素社会推進法」が参議院で可決、成立しました。

水素エネルギーは、環境にやさしい次世代エネルギーとして注目されており、高圧ガス業界には大量製造や大量輸送を可能にするサプライチェーンの構築が求められております。経済性・利便性の観点から課題もありますが水素社会の実現に貢献したいと考えています。

終わりに、第81回総会を大阪で開催するにあたり、大阪高圧ガス溶材協同組合の皆様から多大なるご協力を頂いたことに対し、心より感謝申し上げますとともに、ご来賓並びにご参加の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げますご挨拶とさせていただきます。」

第81回通常総会

(議決権数報告) 議事に先立ち、事務局より議決権について正会員定数31名(出席24名、委任状7名) 代議員定数147名(出席者数65名、委任状82名)で、定款20条に規定する過半数の出席があり、本総会は成立する旨の報告の後、深尾会長が議長となりました。

第1号議案

2023年度事業報告承認の件

2023年度事業報告承認の件について、事務局より第1項全溶連の環境、第2項事業活動状況、第3項一般庶務事項について報告し、第4項の委員会活動状況については、組織委員会(竹腰委員長)、経済委員会(佐藤委員長)、保安委員会(大岡委員長)、厚生委員会(中尾委員長)、広報委員会(事務局)より報告されました。

委員会報告

組織委員会

2023年度の組織委員会の活動としては、従来通り組織の整備・拡充と会員増強をいかに図っていくかを基本に活動しています。

しかしながら昨年度に引き続き「会員企業の統合・合併や廃業」といった理由



竹腰組織委員長

で2023年度も会員数が減少し続けています。

2023年4月の会員数は1,339社でありましたが、2024年4月には1,311社と、1年間で28社の減少となり、減少傾向に歯止めがかかっていません。会員のピークは1995年4月の1,863社ですので、ピーク時に比較しますと実に552社、3割程の減少となっています。

全溶連の正会員は全国31の単位組合が母体となっていることから、

全国の単位組合の会員の減少は全溶連会員の減少と連動し、組合財政上影響を受けることとなり

ます。

正会員が減少している中、組織委員会としては賛助会員の加入増強にも注力しています。

しかしながら、賛助会員の一団体であるJIMGAについて、会費見直しの依頼があり、全溶連としては、ガスメーカー8社に対して改めて賛助会員に加入依頼の交渉をすることとなりました。

今後は、全溶連の加入メリットをアピールして、加入の働きかけに取り組んで参りますので、ご協力よろしくお願い致します。

経済委員会

2023年度の経済委員会の活動として、保安契約締結の重要性を再認識し、より多くの消費先に対して契約を促進する取り組みを強化し、併せて容器指針の効果的な活用と、販売店社員に対する教育支援の更なる充実を図り、会員各社の経済面でのサポートができるように活動しています。



佐藤経済委員長

まず販売店の社員に対し、高圧ガスの取り扱いも含めて、レベルアップを図ることで、業界全体の業績向上に繋がるお手伝いを目的の一つとして、保安委員会とも連携し経済保安WGにて協議しています。

販売店向けの一般高圧ガス販売時マニュアルは、改訂版を準備中です。全溶連で発行している各種保安文書の価格に関しても、財務委員会と連携し検討してまいります。

情報の共有化の内、全国各地で発生している鳥インフルエンザや、年間を通して発生する豚熱については、炭酸ガス供給側と行政側との協力により取り組んでいます。まだまだ緊急時の連絡、供給体制が未整備な地域も見受けられます。今後の課題解決のために、全国の会員に実情把握のためのアンケートを実施し、具体的な対応を見直す必要があると考えています。

さらに全国で締結している高圧ガス容器管理指

針、あるいは容器適正管理要領などと名称の違いはありますが、容器返却期限別指針の活用状況についてもアンケート調査を行い長期停滞並びに紛失容器の撲滅に生かしていきたいと考えています。

また、賠償リスクをカバーするための保険である賠償責任保険は、毎年数十件ほどの事故が発生していますが、的確に対応しています。まだ加入されていない会員の方々には、加入を推奨してまいります。

SDGsに関しましては、具体的に取り組まなければならない課題の一つとして、委員会内で協議をし、保安委員会の協力のもと活動を実施したいと思っています。

最後になりますが、来期に向けては、2名の副委員長に事業分担し、会員の方々にも、テーマごとに担当を決め、全員参加型の委員会運営を目指したいと考えております。

保安委員会

委員長の大岡に代わり保安委員会の活動方針についてAIで発表致します。

従前通り自主保安活動の強化を中心とした活動に加え、全溶連SDGs宣言に則った活動を展開して参ります。具体的には、次の8項目を軸に進めて参ります。



大岡保安委員長

1. 高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守として

各地区の実態を調査するため、組合団体向けと会員各社向けアンケートを作成し、本総会后、送付致しますので、ご回答の周知をお願い致します。各地域の容器指針比較表の作成は、都道府県発表から着手し、各組合にご協力を仰ぎたいと考えています。

2. 主管庁・協会への献策・関係法規制に対する意見具申、伝達指導として

オンラインによる情報提供は、電子化により周知不足の懸念があり電子化は考えていないと、KHKからの公式回答を拝聴しました。今後、国の指導が入り次第、議論する立場をとるとのことでした。

3. 高圧ガス保安法に基づく、周知させる義務の高

度化・活性化として

懸案でありました周知文書の英文化が完成し、HPで公開していただけるよう、広報委員会へお願いいたします。

また、周知文書の情報量を減らすことで、消費先への浸透力を上げるべきか、どんな知識レベルの消費先にも対応できるよう、あらゆる危険性を知らせるべきかと言う意見で激論が交わされ、現状に近い折衷案がベストという結果となりました。

また周知文書の全体を3分で説明する動画が求められましたが、法的根拠と6項目サブタイトルを読み上げるのが精一杯でした。数分で説明できる効果的な手段をご存じの方は、是非事務局にご一報いただけますようお願い致します。

4. 消費者講習会開催など、消費者に対する啓発、自主保安活動の指導・推進として

旧保安DVDに代えたオンライン講習会パーツを作成し、YouTubeで公開しました。また、安価な保安資料の提供のため高圧ガスの保安心得の改定を行いました。増ページと物価高騰により高単価になってしまいました。

今後広告収入による保安テキストの無償化なども考慮に入れる一方、有償広告をデジタルコンテンツに入れることも提案されましたが、実現には技術的な問題が大きそうです。

5. 関連業界及び団体との高圧ガス関連保安活動のさらなる活性化として

11月に保安対策連絡会議を開催し、関連保安組織との意見交換および情報提供を通じて自主保安活動の徹底を図ります。

6. 高圧ガス容器全国一斉特別回収運動の継続実施と危険容器等処理活動および

7. 高圧ガスの乱用、悪用および犯罪抑止、自然災害対策のための活動として

保安資料やHPによって、我々の取り扱う高圧ガス商品の「誤吸入防止」や「容器流出対策」の重要性を周知、さらには「悪用、テロ対策としての流用、盗難防止」で必要となる「保安台帳記載内容の追加」と「注意喚起」を推進していきます。

8. 持続可能な高圧ガス活用社会実現のための目標達成として

YouTubeで公開した説明動画、全溶連SDGs活動について、SDGs活動の理解を深めることが

提案され、会員へ浸透させ意見等あれば都度改訂や追加を行うと決議し、保安資料の中にSDGsマークを入れていくご提案もいただきました。

厚生委員会

厚生委員会は福祉共済制度を担当している委員会です。委員会の活動としては、従来通り福祉共済制度である団体定期保険、傷害補償、医療補償、長期収入補償の拡充を中心とした活動をしています。



中尾厚生委員長

団体定期保険はキャンペーンとして2023年10月から2025年3月までの期間にて「ポイントゲット・キャンペーンPART4」を行っています。このキャンペーンは前回のポイント加点基準を見直し、来年の全溶連大会（東海）で上位5組合を表彰するものです。

2024年1月の更新募集の結果は、全体では2023年1月時より加入人員は28名減の3,301名、加入口数は116口減の7,794口となりました。

一方、団体定期保険のオプションとしての傷害補償につきましては2024年1月の募集結果では前年度に比較し加入人員で26名増、口数で125口増の結果となりました。医療補償につきましては、昨年同様の146名となりました。

新たな制度として、GLTD（長期収入補償制度）を設けて8年目を迎えますが、加入事業所はわずか2社となっています。新規契約には到っていませんのでご協力願います。

ご承知のように、福祉共済制度の制度運営費は各組合さんの貴重な手数料収入となっています。1月の定期募集以外でも随時加入頂けますので、

今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

広報委員会（事務局より報告）

広報委員会は、前年同様に4月、7月、10月、1月と年4回発行している会報誌「全溶連」の編集発行を中心に活動しています。

恒例となっている1月号の新春特集につきましては、諸般の事情で今年度は中止となりましたが、来年度については、群馬高圧ガス溶材協会にお願いする予定です。

今年度も第14回の写真コンテストを開催致しました。応募総数15名、24作品の中から広報委員会で厳正な審査の結果、大阪組合都田さんの作品「旧国鉄 土幌線 タウシュベツ川橋梁」が優秀賞に選ばれ、1月号の表紙に掲載させて頂きました。

今年も第3回全溶連川柳募集を開催しました。日々の業務において高圧ガスを扱っている皆さんから高圧ガスに係る川柳を募集しました。

総勢25名、46作品の中から「ほっとくと 怒り爆発 ガスと嫁」が優秀賞に選ばれました。

これらの取り組みは読者と会報誌を直接結びつけるもので今後も継続して開催していく予定でございます。

また賛助会員様につきましては、少しでもお役に立てるよう会報誌の「賛助会員の広場」に会社広告を無償でご紹介しており、既に3巡目に入りました。皆様に見て頂き、読んで頂く会報誌を目指しています。会報誌についてのご意見、ご要望等をお寄せ下さるようお待ち申し上げます。

全溶連のホームページにつきましては、お気づきの点がございましたら、なんなりとご指摘・ご要望をお寄せ願います。出来る限りご要望に沿う形で改定してまいりたいと思っています。

産報出版ホームページから飛び出したWEB版 **新媒**体

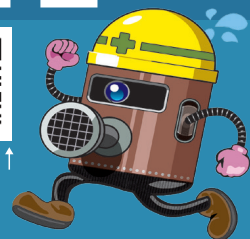
WELDING MATE

《ウエルディングメイト》

溶接界で75年以上続く新聞「溶接ニュース」から選りすぐり、「技能者」「現場ルポ」「魅力的な製品」など、溶接を「身近に感じる記事」を、興味のある方に無料開放!



こちらのQRコードからご覧いただけます↑



産報出版株式会社

●東京本社：TEL：03-3258-6411 FAX：03-3258-6430
●関西支社：TEL：06-6633-0720 FAX：06-6633-0840

第2号
議案2023年度
決算報告承認の件

柳川財務委員長より2023年度収支決算について報告されました。

収入の部		単位=円	支出の部		単位=円
科 目	決 算		科 目	決 算	
1. 基本収入 会費収入	25,514,000		1. 事業費 保安事業関係	4,709,708	
2. 事業収入 保安事業関係 共済事業関係 (事業収入合計)	8,654,912 6,299,809 14,954,721		2. 販売費及び一般管理費 人件費 会議費 その他事業費 諸経費 (販売費及び一般管理費合計)	17,211,249 4,342,996 5,111,248 10,645,303 37,310,796	
3. 全溶連總會収入	0		3. 営業外費用	208,576	
4. 事業外収入	1,794,655		4. 支出合計	42,229,080	
収入合計	42,263,376		5. 次年度繰越金	16,833,546	
5. 前年度繰越金	16,799,250		総合計	59,062,626	
総合計	59,062,626				



柳川財務委員長

2023年度利益は次年度繰越金16,833,546円から前年度繰越金16,799,250円を引いた34,296円となりました。

財産目録

単位:円

流動資産 (現金・預金等)	75,084,815	流動負債 (未払費用等)	4,821,375
固定資産 (敷金)	5,040,500	固定負債 (大会準備引当金等)	13,470,394
資産 合計	80,125,315	負債 合計	18,291,769
		差引正味財産	61,833,546
		負債並びに正味財産合計	80,125,315

次に利益処分案として本年度利益34,296円を前年度繰越金16,799,250円に加えた16,833,546円を次年度繰越金とする利益処分案が提案され承認されました。

引続き監事を代表して田畑監事より監査報告がなされ、第2号議案は承認されました。

第3号
議案2024年度事業計画(案)
承認の件

東狐総務委員長より2024年度事業計画(案)として13項目が提案され、満場一致で承認されました。



東狐総務委員長

1. 高圧ガス保安法及び関連法規の周知徹底とその遵守
2. 高圧ガス保安法に基づく「周知義務」の履行と徹底
3. 主管庁との密接な連絡・関係法令の答申並びに伝達指導
4. 自主保安活動並びに消費者への保安対策の強化・推進

5. 関連業界及び団体との共同事業の推進
6. 高圧ガス停滞容器全国一斉特別回収の継続実施
7. 高圧ガス不明容器処理の対策・推進
8. 組織の整備・拡充強化と会員増強努力
9. 福祉共済制度・団体定期保険(キャンペーン)及び傷害補償、医療補償、GLTDの拡充並びに賠償責任保険制度の普及
10. 会報誌の発行、各種保安文書・資料の頒布
11. 第81回全溶連総会(大阪)の開催および第82回全溶連大会(東海)の準備
12. 「高圧ガス溶材企業年金基金」の拡充
13. SDGsの活動の展開について

なお、第82回全溶連大会は、2025年6月12日(木)に名古屋マリオットアソシアホテルで開催することが決定しております。

第4号
議案

2024年度収支予算(案)
承認の件

柳川財務委員長より2024年度収支予算(案)が提案されました。

収入の部 単位=円

科目	2024年度予算
1. 基本収入 会費収入	25,460,000
2. 事業収入 保安事業関係	9,720,000
共済事業関係 (事業収入合計)	5,502,000 15,222,000
3. 全溶連総会収入	1,200,000
4. 事業外収入	1,750,000
収入合計	43,632,000
5. 前年度繰越金	16,833,546
総合計	60,465,546

支出の部 単位=円

科目	2024年度予算
1. 事業費 保安事業関係	5,026,000
2. 販売費および一般管理費 人件費	17,560,000
会議費 その他事業費	4,400,000 6,380,000
諸経費 (販売費及び一般管理費合計)	10,019,000 38,359,000
3. 営業外費用	150,000
4. 支出合計	43,535,000
5. 次年度繰越金	16,930,546
総合計	60,465,546

2024年度の利益は次年度繰越金16,930,546円から前年度繰越金16,833,546円を差引いた額97,000円となります。第4号議案は拍手で承認されました。

最後に鈴木副会長より「閉会にあたって一言ご挨拶申し上げます。本総会にご出席の皆様、大変お疲れ様でした。第81回通常総会が皆様のご協力により、全ての案件が無事終了しましたこと、厚く御礼申し上げます。



鈴木副会長

さて、国内経済の先行きは、感染対策に万全を期し、経済社会は戻りつつありますが、金融資本市場の変動リスク、ウクライナ情勢の長期化などが懸念される中で、全溶連を取り巻く環境は原材料価格の高騰、エネルギー料金の値上げ、人手不足の影響で厳しい状況に変わりありません。

また、消費先の高圧ガス事故件数は、高止まり傾向は変わらず予断を許さない状況であります。

我々は如何に厳しくとも保安を最優先に商売を続けていかななくてはなりません。

お客様に高圧ガスを安全・安心にご使用いただくために自主保安体制の強化を図り、確実に周知徹底することが全溶連の使命であると考えます。

全溶連は、会員の減少により財政的に厳しい状況にありますが、運営コストの適正化、会員様の

ニーズに則した取り組みを進めて参りますので、関係各位の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

簡単ではございますが、閉会にあたってのご挨拶とさせていただきます。」

と挨拶がありました。



ご来賓より祝辞

経済産業省 商務情報政策局 産業保安グループ 高圧ガス保安室長
鯉江雅人(代読 安田 良)

中部近畿産業保安監督部
近畿支部、保安課長安田で
ございます。

本来であれば、経済産業
省本省より、高圧ガス保安
室長の鯉江が参加させてい
ただき、祝辞を述べさせて
いただくところですが、本



安田保安課長

日、公務多忙ということで、私が祝辞をお預かりし
てまいりましたので代読をさせていただきます。

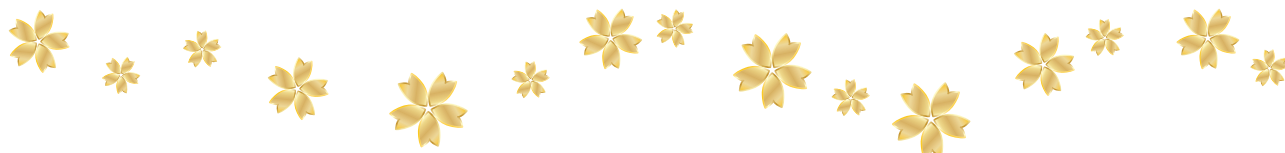
冒頭、本年1月1日に発生しました令和6年能
登半島地震において亡くなられた方々に心からご
冥福をお祈り申し上げるとともに被災された全て
の方々にお見舞いを申し上げます。また、今日ま
で必死の思いで、復旧復興に向けて尽力してこら
れた方々、温かい支援をいただいた関係の皆様に
対し、敬意と謝意を表します。経済産業省として
も総力を挙げ、関係省庁と連携し、引き続き復旧
支援に取り組んでまいります。

それでは、一般社団法人全国高圧ガス溶材組合
連合会第81回通常総会が開催されましたことを
心よりお慶び申し上げます。貴連合会および会員
の皆様には、高圧ガス保安行政にご理解、ご協力
をいただき、感謝申し上げます。高圧ガスは社会
の様々な分野においてなくてはならない必要不可
欠な存在であり、その重要性はいつの時代も変わ
ることはありません。他方で、特性から事故やリ
スクに直面する恐れがございます。環境社会の目
まぐるしい変化の中で、近年は、高圧ガス関連事

故の件数は高止まりしており、保安人材の不足や
設備の経年化といった課題が顕在化している状況
でございます。

こうした中、貴連合会におかれましては、日頃
より高圧ガスの取り扱いおよび関連機器に係る保
安教育などに積極的に取り組んでこられましたこと
に深く敬意を表したいと思っております。経済産業
省といたしましては、こうした課題解決の鍵が、
AI・IoT、ビッグデータ等の新技術を活用して保
安業務の高度化、効率化を図る取り組み、いわゆ
るスマート保安であると考え、事業者による新技
術の導入を促すインセンティブの措置等を実施し
ております。加えて、高圧ガス保安法を4半世紀
ぶりに改正し、テクノロジーを活用しつつ、自立
的に高度な保安を確保できる事業者に対し、事業
者の保安力に応じて、届け出等の手続きの不要化
や、事業者自身による検査等を柔軟に措置する新
たな制度を創設し昨年12月21日に施行いたしま
した。本日お集まりの皆様にも、スマート保安の
重要性についてご理解をいただき、貴連合会とと
もに、高圧ガスの利用に伴う事故の発生防止に向
けてこれからも歩みをともして取り組んでいき
たいと考えております。

結びに、今後の貴連合会のより一層のご発展、
会員の皆様のご健勝、そしてご安全を祈念いたし
まして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。
経済産業省 商務情報政策局 産業保安グル
ープ 高圧ガス保安室長 鯉江雅人 代読
本日はおめでとうございました。



大阪市消防局 予防部規制課 松藺保安担当課長

本日は全国高圧ガス溶材組合連合会第81回通常総会が、このように盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。また皆様方には平素より消防行政に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。



松藺保安担当課長

さて、ここ大阪府におきましては、高圧ガス保安法、液化石油ガス法、火薬類取締法といった保安3法事務を実施している府内消防本部が、法令運用の平準化や行政サービスの均等化を図ることを目的として共同して「保安3法事務おおさか」という組織を作っております。

その中におきまして平成25年に大阪府内で発生しました不適切に取り扱われていた工場内の高圧ガス容器、これによる死亡事故を契機に、放置された高圧ガス容器や、不適切に取り扱われている高圧ガス容器、これを放置ボンベとして位置づけ、平成26年度から放置ボンベ撲滅の取り組みというものを展開しております。その際に、大阪高圧ガス溶材協同組合の皆様方にはこの取り組みに賛同していただき、特に平成29年度からは、更なる取り組みの強化といたしまして、全国の高圧ガス保安活動促進週間に合わせ、放置ボンベ撲滅週間を設定し、その際には、大阪府内においてポ

スターやマグネットシートなどの広報資材をご提供いただいております。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。おかげをもちまして取り組み当初年間800本程度放置ボンベがありましたが、令和5年度には30本程度にまで削減できており府民、国民の安全安心に寄与できているものと考えております。皆様方におかれましても、こういった様々な取り組みにつきまして、今後ともご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、いよいよ来年には大阪関西万博が開催されます。万博は世界各国からの来訪者を迎え交流を深める素晴らしい機会となります。また、テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」であり、これは人間1人1人が、自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともにこうした生き方を支える持続可能な社会を国際社会がともに創造していくことを推し進めるものです。

そういった中で、大阪府市としまして、大阪関西万博の成功に向けて積極的に取り組んでまいります。また、会場を管轄する消防として、安全な環境を提供し、訪れる方々が安心して楽しめるように全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、より一層のご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

特別民間法人 高圧ガス保安協会 谷口理事

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会の第81回通常総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。貴連合会の皆様におかれましては、日頃より、高圧ガス保安協会の活動に多大なるご支援、ご協力をいただくとともに、高圧ガスの保安の確保にご尽力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。



谷口理事

貴連合会は産業界の中でも、溶接溶断に利用されるアセチレン、酸素、窒素等を多く扱う高圧ガス販売業界の取りまとめ役として、今に至るまで90年以上にわたり業界の健全な発展と安全供給に欠かせない活動を実施されてきました。また、一般高圧ガス販売業界の唯一の全国団体として自主保安活動の中核を担い、高圧ガス消費者や販売業者の安全を第一に考え、着実な成果を挙げられてこられました。今後とも、貴連合会におかれましては、高圧ガスの消費や移動に関連する事故を防

止するため、高圧ガスの販売業者、高圧ガスの消費者に対しまして、引き続き高圧ガスの安全な取り扱い等に関する周知や保安活動を、万全を期して進めていただくことを切にお願いいたします。

さて貴連合会は昨年、SDGs宣言を第80回全溶連大会で宣言されました。SDGsはその名の通り、持続可能であることが求められ、これまでも安定かつ安全に高圧ガスを供給してきた貴連合会の活動に合致した方策と存じます。宣言の中では、これまでの溶材に関わる高圧ガスの範疇にとどまらず、クリーンエネルギーである水素に着目し、現在の保安資料に情報を加えて周知等を行う他、そのインフラの拡大や改善を行いつつ、技術向上を目指されています。水素エネルギーの利活用を推進することは、我が国の2050年カーボンニュートラルの実現に向けて必要不可欠です。そのため

に政府が推し進めている政策の一つとして、先頃の国会において交付された水素社会推進法およびCCS事業法があります。両法は未来に向けた温室効果ガスの削減に寄与するものです。

高圧ガス保安協会としましても、これまでに培った専門的知見を生かしまして、保安と振興の両面から貢献する所存でございます。ご存知の通り、水素は漏えいし着火すると、火災や爆発のリスクがあります。1度事故が発生しますと、水素の普及に遅れが生じることになります。従いまして、これまで貴連合会や弊協会が取り組んできました保安教育分野の活動がより一層重要になってまいります。水素の利活用の推進におきましても、貴連合会の皆様とともに協力させていただきたいと存じますので、どうぞよろしく願いいたします。

懇親会

懇親会では110余名の出席を頂き、深尾会長の挨拶に続き一般社団法人日本産業・医療ガス協会 澤木専務理事よりご祝辞を頂き、廣瀬副会長による乾杯のご発声を機に和やかなムードで宴が始まり、最後に石川副会長の閉宴の挨拶で全ての総会行事の幕が閉じられました。



澤木専務理事



廣瀬副会長



石川副会長



単位組合紹介

群馬県高圧ガス溶材協会

所在地 〒371-0854 群馬県前橋市大渡町一丁目10番7号
 群馬県公社総合ビル内5階
 TEL:027-255-4639 FAX:027-255-4640
 E-mail:g-k.gas@hyper.ocn.ne.jp

会長 折茂 紀彦 (協和商工(株) 代表取締役社長)

会員 正会員:45社 賛助会員:3社

設立 昭和41年5月

沿革 昭和41年5月 群馬県酸素溶材商業会設立
 昭和48年5月 群馬県高圧ガス溶材協会に改称

組織 会長1名 副会長3名 理事8名 監事2名 事務局2名(兼務)



折茂会長

目的

本会は、会員相互の緊密なる協調のもと、自主保安活動の促進により災害の防止、容器の保安管理の徹底等保安行政の円滑な執行に協力し、斯業の健全な発展を図り、もって公共の安全と地域社会の発展に貢献し、併せて会員相互の親睦を密にすることを目的としています。

事業内容

本会においては、自主保安確立促進事業と消費者保安啓発促進事業及び容器管理対策事業を柱として事業を推進しております。

自主保安確立促進事業としては、一般従業員及び第一種販売主任者免状所有者を対象とした保安講習会をそれぞれ開催するとともに、従業員の資格取得のための試験準備講習会を実施し好評を得ています。また、消費者保安啓発促進事業としては、毎年150人ほどが参加して消費者保安講習会を開催しています。こうした保安の意識向上・啓発の事業を継続して行っていくことは大変重要と考えており、今後もしっかり取り組んでいきたいと思っています。

容器管理対策事業としては、毎年8月の一ヶ月間を本会の放置容器回収月間と定め、会員に広く呼びかけて回収を行うとともに、11月には回収した放置容器の交換会を実施

しています。本会では、平成26年6月に「群馬県高圧ガス容器管理指針」を定めて運用を開始し、容器の適正な管理の徹底に努めてきましたが、放置容器は年々減少の傾向にあり、高圧ガス容器の適正管理の意識が消費者に浸透してきていると感じているところです。

その他、本会は、従来から群馬県と密接な情報交換・連携を図って各種事業を実施しています。また、県高圧ガス地域防災協議会や保安協会連合会と三位一体の組織として、常に協力し合いながら事業を進めています。今後もこうした連携を大事にしていきたいと考えています。

また、豚熱や高病原性鳥インフルエンザについては、県と「家畜伝染病の発生における防疫対策への協力について」の取り決めをし、発生の都度、県担当部局の農政課（家畜防疫対策室）と連携して迅速な対応を行っているところです。



放置容器の交換会風景

賛助会員の広場

FIBER LASER MEISTER FLM-2000W (ファイバーレーザーマスター)

FIBERLASERを知り尽くした TANAKA から新たな溶接システムが登場!



3in1 溶接トーチ
FLM-WCCT

溶接装置
FLM-2000W

- ・ 定格出力 2000W のシングルモード ファイバーレーザー発振器を採用、幅広い溶接ワークに対応
- ・ チラー内蔵型の水冷仕様で高使用率
- ・ トーチ重量 750g、熱効率の良いスウィング式スキャン

TANAKA
Creation To Reality

高圧ガス容器遠隔監視システム

**高圧ガスの残量管理、
一歩先へ進めませんか!**



遠隔監視制御盤 遠隔監視 BOX

- ・ 接点付圧力計等と組合せて遠隔で残量低下アラートを発信
- ・ 単独通信機能により wi-fi が無くても使用可能
- ・ 機能がパッケージ化されており、導入が容易
- ・ オーダーメイド対応可能 (例: 漏洩検知、重量管理、多系統監視等)

日酸TANAKA株式会社 産業機器事業部

Tel: 044(549)9647 Fax: 044(549)8970
神奈川県川崎市幸区堀川町 66-2 興和川崎西口ビル 9F
<https://nissantanaka.com/>



特別な金利をご用意いたします!

ご退職者特別プラン

期間: 2023年11月1日(水)~2024年10月31日(木)まで

「退職金、これからどうしよう…」

三菱UFJ信託銀行は、皆さまのニーズに合わせて、大切な退職金を守り育てる4つのコースをご用意して、お待ちしております。

全コース共通 退職金以外のご資金もご利用いただけます!

- ご退職日またはご退職金のお受取日から **2年以内のお客さま**がご利用可能!
- ご退職者特別プランをご利用いただくと、**ご家族さま**もご利用可能!

このような方にオススメです!

ファンドラップコース	投信コース
投資方針に応じてプロに運用を任せられないかな…	自分で投資信託を選んで運用したい
毎月定額で受取れたらなあ…	運用はゆっくり考えていきたい
元本保証 ずっと安心コース	定期預金コース 元本保証

「ご退職者特別プラン」について、くわしくはホームページでご確認ください。

三菱UFJ信託銀行 検索

または、www.tr.mufig.jp

特別な金利をご用意いたします!

ご退職者特別プラン



スマートフォンの方はこちらから

2024年6月20日現在



三菱UFJ信託銀行

全溶連 ポイントゲットキャンペーン part4

全溶連・福祉共済制度

以下の基準にもとづく

ポイント獲得点数上位5組合

を全溶連大会で表彰!!

ご協力よろしく申し上げます!

ポイント加点基準

①加入人数・口数増加

…1人・1口増加につき各**2ポイント**加点

②新規加入事業所追加(注)

…加入会社1社につき**10ポイント**加点

③組合別加入事業所率(小数第一位四捨五入)

…加入事業所率×**50%**を**ポイント**加点

④福祉共済制度アンケート回収

…1枚回収につき**0.5ポイント**加点

(注) 団体定期保険の新規加入事業所によるポイントに加え、傷害補償または医療補償のいずれか、もしくは両方の新規加入事業所も②のポイントを加点する。

ポイント減点基準

①加入人数・口数減少

…1人・1口減少につき各**1ポイント**減点

※但し、年齢超過による脱退、死亡による脱退、廃業による脱退で減少した場合は減点しない。

※加入無し組合はランク外の取扱いとする。

対象期間・判定方法

2023年10月－2025年3月

2023年10月1日時点の加入人数・口数との増減をポイント化し判定する

第82回全溶連大会 2025東海で表彰

全溶連・福祉共済制度のご案内

全溶連では4種類の福祉共済制度があります。
 毎年1月1日始期の定期更新及び
 新規加入の申し込みが10月から始まります。
 (GLTDのみ始期は4月1日)

団体定期保険〈事業所加入型〉

加入しやすい掛け金で万一に備える保障

医療補償〈団体総合生活補償保険〉

病気やケガに備えた充実補償

傷害補償〈団体総合生活補償保険〉

経営者・従業員のみなさまの業務上のケガを補償
 業務中以外も補償する24時間タイプもあります。

長期収入サポート制度 (GLTD 制度)

〈団体長期障害所得補償保険〉

保険料は損金加入が可能
 優秀な人材確保につながります
 訴訟抑制効果が期待できます。

ぼくはボン兵衛くん

原作：封舘ひづか 作画：ひこさん
 第四十五話 「放置容器回収の結果」の巻



2024年度 第1回理事会・評議員会合同会議 開催日程

日時：2024年9月20日(金)
 13:30～17:00

場所：東京グランドホテル 桜の間

2024年9月

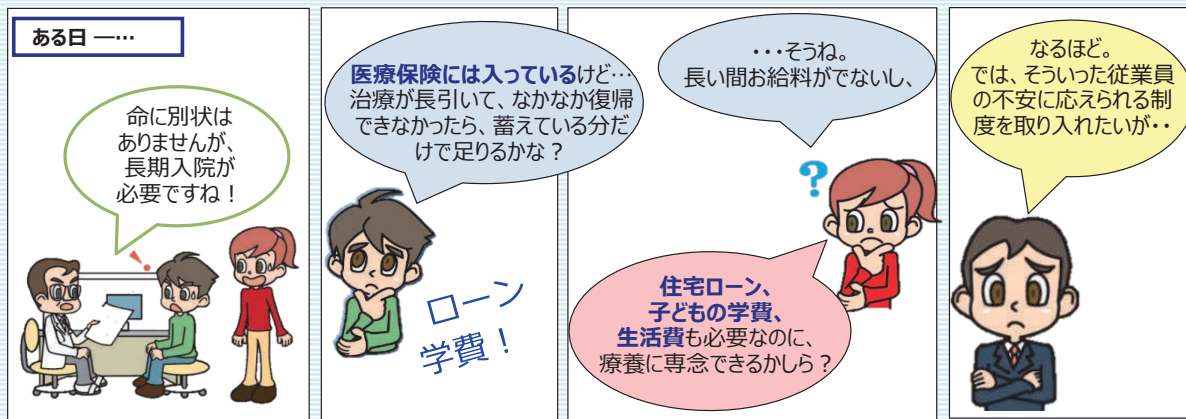
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

団体割引
20%適用

長期収入サポート制度 (全溶連GLTD制度) のご案内

(団体長期障害所得補償保険)

病気やケガで働けなくなった場合に**長期で収入を補償する制度**です。
全溶連としてまとめて加入することで、**割安な保険料**での準備が可能です。
御社の福利厚生の**拡充**のため、**制度導入**をご検討ください。



そんなときに!!!

全溶連GLTD制度

POINT

全溶連制度での加入メリット!

保険料に団体割引20%を適用しているため、**割安な保険料**でご加入いただけます!
ストレスチェックもサービスとして付帯しています! ※1

働きやすい職場環境に!

福利厚生制度の充実により安心して働ける職場環境となることで、**従業員のモチベーション向上**につながり、**定着率UP**につながります。
メンタル疾患による就業障害も最長2年間補償されます!

採用時の自社PRに!

リクルートやCSRの場面で**優良企業のイメージ**をアピールでき、**優秀人材の確保・企業価値の向上**につながります。
業務中・業務外、国内外を問わず、偶然な事故によるケガや病気等が原因で就業障害となった場合に補償します。

訴訟リスク抑制に!

近年、労災をめぐる訴訟が増加しています。**企業としての安全配慮義務**が問われ、労災認定を受ける事例も多くなります。退職後の**経済的補償**により、**訴訟リスクの抑制効果**があります。

福利厚生の更なる充実や、自助努力への第一歩として、ぜひ企業さまでの導入をご検討ください



※1改正労働安全衛生法により、労働者数50人以上の事業場において、常時使用する労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)を実施することが事業者の義務となります。

GLTDについてのお問い合わせはこちらまで

取扱代理店

株式会社 星和ビジネスリンク
 TEL 0120-288-270

引受保険会社

【幹事】あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
 広域法人開発部 営業課
 TEL 050-3460-8162

【非幹事】日本生命保険相互会社

本商品の詳細は、下記二次元コードよりP.18をご確認ください!

(全溶連福祉制度のパンフレットが閲覧できます)

<https://zenyoren.com/wp-content/uploads/2023/09/0bd0d45e316c6d4a41e9323d3883309d.pdf>



このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ず「全溶連・福祉共済制度のご案内」および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり(普通保険約款・特約)」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。この保険は全国高圧ガス溶材組合連合会を保険契約者とし、連合会会員企業の従業員を被保険者とする団体長期障害所得補償保険の団体契約です。

(2023年12月承認) B23-103012

発行所

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会
 東京都千代田区神田北乗物町12(大竹ビル)

Tel.03-5296-0430 Fax.03-5577-5062

<http://www.zenyoren.com/> e-mail:honbu@zenyoren.com



全溶連は、限りある地球環境の保護に積極的に取り組んでいます。この印刷物は環境保護印刷推進協議会(E3PA)の認証を受け、グリーンプリンティング認定工場で作成しました。

